

道の駅「神鍋高原」リニューアルオープン式典を開催



8月2日に、道の駅「神鍋高原」で、リニューアルオープンを祝う記念式典が行われました。地域の魅力が詰まった新しい「神鍋高原」のスタートに、多くの市民や観光客が駆け付けました。式典は、地元『創作エイサー BILLIKEN & こどもエイサー ぶりけんぐわあ』による演舞で華やかに幕を開けました。開会宣言に続き、主催者を代表して門間市長ならびに株式会社日高振興公社の岡森且哉代表取締役があいさつを行いました。門間市長は、新しく生まれ変わった道の駅が地域の観光拠点・交流拠点としてさらに発展することへの期待とリニューアルオープンに関わっていただいた関係者の皆さんへの感謝の辞を述べました。来賓の方々からの祝辞や祝電の披露が行われた後、出席者によるテープカットが晴れやかに行

われ、リニューアルオープンを祝いました。

式典後に行われた「新キャラクター名発表」では、応募総数176点の中から決定した「かなびん」がお披露目されました。あわせて記念品抽選会も実施され、終日多くの来場者で賑わいました。



新しくなった道の駅「神鍋高原」へぜひお越しください!

- ◆地元の新鮮な高原野菜や特産品を取り揃えた売店
- ◆地元食材をふんだんに使った新レストラン「高原キッチン469 -KOGEN KITCHEN 469-」
- ◆新しくなったイベントホールは物販や飲食イベント、展示会などで活用



▲かなびん

陸上競技・男子 400 mハードルでインターハイ出場



豊岡高等学校3年の澤野凱音さんが、滋賀県で開催された全国高校総合体育大会(インターハイ)陸上競技・男子400mハードルに出場しました。初めてのインターハイ出場となった澤野さんは、全8組で行われた予選の5組目に出場し、8人中2位で決勝進出を決めました。決勝では全国の強豪を相手に自己ベストを更新する力走を見せ、多くの収穫と課題を得る大会となりました。

澤野さんは「全国の舞台を楽しむことができました。今回の経験が後輩たちの挑戦につながればうれしいです。全国大会出場は努力を重ねれば手の届く目標だと感じました。後輩たちにもぜひ全国を目指してほしいです」と、大会を振り返るとともに後輩へエールを送りました。

第19回日本スカウトジャンボリーに但馬代表として参加



ボイススカウト日本連盟主催の「第19回日本スカウトジャンボリー」に、豊岡市から5人のスカウトが参加します。出発を前にした7月31日、門間市長を訪問し、大会に向けた力強い決意表明を行いました。今大会のテーマは「挑戦～神石から未来への一歩～」です。期間は8月4日から10日までの7日間で、会場は広島県神石高原町の神石高原ティアガルテン・カントリーパーク仙養です。平均標高約700メートルの豊かな大自然の中、全国から集まる約8,000人の仲間たちと共に、さまざまなプログラムや野外活動に挑みます。市長から温かい激励の言葉が贈られ、スカウトたちは期待を胸に引き締まった表情を見せました。

豊岡市
SNS



各施設・
事業の
SNS



※広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマホアプリのマチイロでも読むことができます。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採
用しています。



環境に優しいベジタブルインキで
印刷しています。